

3版化学の新標準演習 正誤表 2刷用

	ページ	問題番号など	訂正行	訂正前 (誤)	訂正後 (正)	訂正日
本冊	62	92 (2)	1行目	〈末尾に追加〉	(NaHCO <sub>3</sub> の式量：84)	2023/12/28
本冊	116	例題54 (2)	---	25°C, 4.0×10 <sup>5</sup> Pa	25°C, 1.0×10 <sup>6</sup> Pa	2025/3/27
本冊	126	180	1~3行目	グルコース C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>6</sub> 360mg を含む1.0L の水溶液の浸透圧を、27°Cで右図のような装置を用いて測定した。	半透膜を取り付けたろうと管にグルコース C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>6</sub> 72mg を含む0.20L の水溶液を水面と同じ高さまで入れて放置したら、27°Cで <i>h</i> cm の液面差が生じて平衡状態となった(右図)。	2025/9/1
本冊	156	214	図	「充電時」と「放電時」	〈位置を入れ替える〉	2025/3/19
本冊	183	□2 (3) 解答	---	[H <sub>2</sub> O]は定数とみなして <i>K</i> に含める	[H <sub>2</sub> O]は一定とみなして <i>K</i> の式には含めない	2025/9/1
本冊	278	例題131 考え方 (1)	12行目	臭素とは置換反応しない	臭素とは付加反応しない	2026/2/17
本冊	321	例題149	タイトル	共重合体の構成	共重合体の組成	2025/9/29
本冊	321	例題149 考え方 (2)	8行目	$x \div 34$ [g], $y \div 11$ [g]	$x \div 33.9$ [g], $y \div 11.1$ [g]	2025/9/29
本冊	321	例題149 考え方 (2)	9行目	$11/15 \times 100 \div 73$ [g]	$11.1/15 \times 100 \div 74$ [g]	2025/9/29
本冊	321	例題149 解答 (2)	---	73%	74%	2025/9/29
別冊解答	86	180 解説 (1)	7行目	360mg = 0.360g	72mg = 0.072g	2025/9/1
別冊解答	135	256 解説 (2)	5~8行目	滴定前の[Cl <sup>-</sup> ]は1.0×10 <sup>-2</sup> mol/Lであったが、滴定後には[Cl <sup>-</sup> ]は2.0×10 <sup>-6</sup> mol/Lになったから、[Cl <sup>-</sup> ]は滴定前に比べて、 $(2.0 \times 10^{-6}) / (1.0 \times 10^{-2} \times 100) = 2.0 \times 10^{-4}$ すなわち0.02%に減少している。	滴定前のCl <sup>-</sup> は1.0×10 <sup>-2</sup> mol/L、滴定後のCl <sup>-</sup> は2.0×10 <sup>-6</sup> mol/L、すなわち、 $(2.0 \times 10^{-6}) / (1.0 \times 10^{-2} \times 100) = 0.02\%$ に減少している。	2025/9/1
別冊解答	165	303 参考	1行目	(シストランス異性体)	〈削除〉	2025/9/1
別冊解答	165	303 参考	図	シストランス, ⇄	〈削除〉	2025/9/1

ページ	問題番号など	訂正行	訂正前 (誤)	訂正後 (正)	訂正日	
別冊解答	166	305 参考	7~10行目	弱い酸性側に変色域をもつメチルレッドを使用する必要がある。また、メチルレッドは酸性側が赤色、塩基性側が黄色である。中和滴定では、	酸性側に変色域をもつメチルオレンジ、またはメチルレッド（酸性側が赤色、塩基性側が黄色）を使用する。本問では、	2025/9/1
別冊解答	182	332 参考	2~4行目	二重結合の位置は二重結合を含む最長の炭素骨格の端からつけた番号で示す。	二重結合の位置は最長の炭素骨格の端からつけた位置番号で示す。	2025/9/1
別冊解答	183	333	構造式の番号	(iv)	(iv)'	2025/12/17
別冊解答	191	341 解説 (1) ④	構造式	C-C-C-CHO	C-C-C-C-CHO	2025/3/27
別冊解答	213	365 解説 (4) (ウ)	---	〈「弱い酸性」の上の構造式〉 C-CH	C-OH	2025/2/4
別冊解答	247	415 解説 (4)	10行目	〈反応式〉	〈先頭（フェノールの構造式の前）に追加） <i>n</i>	2026/1/8
別冊解答	256	429 解説 (4) (d)	---	〈構造式〉	〈酸素Oとカルボニル基のC=Oの位置を逆にする：2か所（(b)と同様の位置になる）〉	2025/10/1

<>/>で囲まれた部分は以下のような文字です

下線 <u>□</u>

イタリック <i>□</i>

太字 <b>□</b>

上付き <sup>□</sup>

下付き <sub>□</sub>